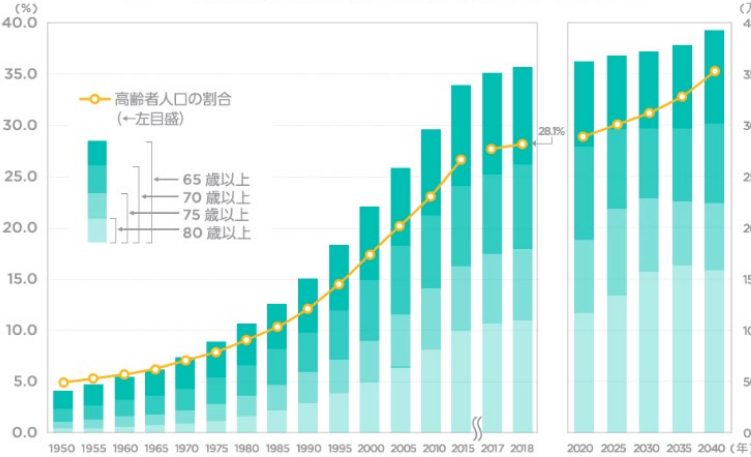


2025年問題

いわゆる2025年問題とは、「団塊の世代」である約800万人全員が、75歳以上になることであり、総人口約1億2000万人のうち約2200万人が後期高齢者に達し、社会的な影響が様々起こりうる社会問題のことです。

2025年を迎えるまでに、残すところ3年弱となっており、私たちも考えなくてはならない状況にあります。

図 高齢者人口及び割合の推移 (1950年～2040年)



社会的影響という点のひとつとして、医療費や介護費の増大及び現役世代への負担増大があります。医療、介護、年金の社会保障の一般的な保険料率が約31%になると見込まれ、いかに現役世代の負担を軽減するかが、大きな課題になります。



約半年ぶりとなる久しぶりの発行になります。楽しみにされていた方もそうでない方も一読して頂けたら幸いです。不定期での発行になりますが、概ね3ヶ月に1回程度は発行できたいと思います。

最新情報

ほっとニューズ

Vol.13

「お問い合わせ先」
ほっとしばたケアセンター
 新発田市豊町3-5-11
 【電話】0254-23-0155

新型コロナウイルス感染症対策

屋外・屋内でのマスク着用について

屋内	距離が確保できる	距離が確保できない
<p>マスク着用推奨</p> <p>会話をする</p> <p>目安2m以上</p> <p>※十分な換気など感染防止対策を講じている場合は外すことも可</p>	<p>マスク着用推奨</p> <p>会話をほとんど行わない</p> <p>目安2m以上</p> <p>距離を確保して行う 図書館での読書、芸術鑑賞</p>	<p>マスク着用推奨</p>

注意
 夏場は、熱中症防止の観点から、マスクの必要のない場面では、マスクを外すことを推奨します。

ほっと(ばた)

居宅介護
【受入状況】
 石井：空き○
 小林：空き○

マスク着用について、厚生労働省より周知するリーフレットが出されました。屋外では十分な距離が確保できる場合や会話をほとんど行わない場合は、マスクを着用する必要がないとしています。屋内も同様です。

屋外	距離が確保できる	距離が確保できない
<p>マスク必要なし</p> <p>会話をする</p> <p>目安2m以上</p>	<p>マスク着用推奨</p>	<p>マスク必要なし</p>
<p>マスク必要なし</p> <p>会話をほとんど行わない</p> <p>公園での散歩やランニング、サイクリングなど</p>	<p>マスク必要なし</p> <p>徒歩や自転車での通勤など、屋外で人とすれ違う場面</p>	

高齢の方と会う時や病院に行く時は、マスクを着用しましょう。
 体調不良時の出勤・登校・移動はお控えください。

